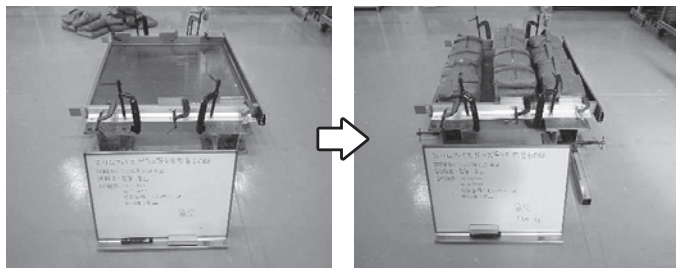


等分布载荷試験[パネルの強度]

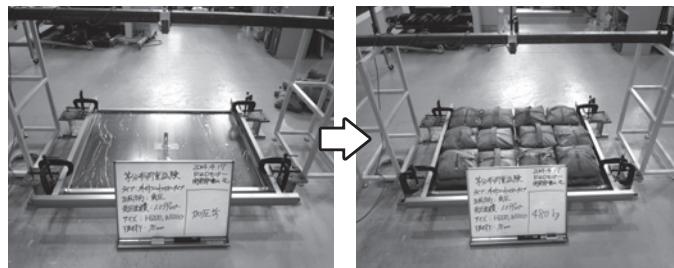
パネル全面に所定の等分布荷重を加え、取付け部やパネル等に破損や脱落がないことを確認する。

スリムフェイスガラス SG



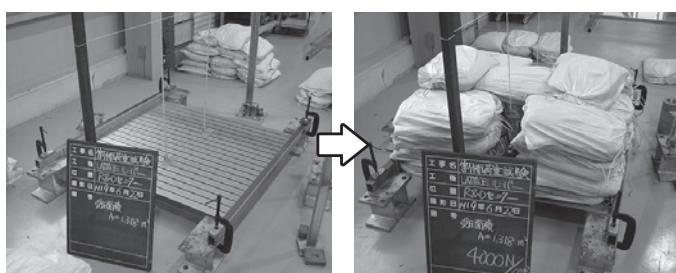
[試験結果] 最大荷重4629N/m²加圧時に試験体に有害な変形はなし

外付けユニットパネルタイプOP



[試験結果] 最大荷重4732N/m²加圧時に試験体に有害な変形はなし

ラティスルーバータイプ LL



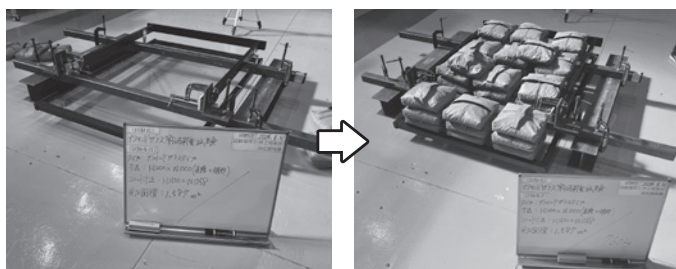
[試験結果] 最大荷重4163N/m²加圧時に試験体に有害な変形はなし

パネルタイプ P



[試験結果] 最大荷重6415N/m²加圧時に試験体に有害な変形はなし

ブラインドガラス BG



[試験結果] 最大荷重4693N/m²加圧時に試験体に有害な変形なし

横格子手すりの安全確認

安全な「横格子間隔」を確認するため、横格子間隔によるよじ登り抑止効果について、検証実験を実施。2歳児～6歳児により、3種類の格子間隔の手すりをよじ登れるかどうかを確認した。

格子間隔15mm		格子間隔10mm		格子間隔8mm	
年齢	結果	年齢	結果	年齢	結果
2	登れた	2	登れなかった	2	—
3	登れた	3	登れなかった	3	—
4	登れた	4	登れた	4	登れなかった
5	登れた	5	登れた	5	登れなかった
6	登れた	6	登れなかった	6	登れなかった

検証結果

格子間隔15mmでは、全員が登ることができ、8mmでは登ることが出来なかった。
したがって、子供のベランダからの転落を防止する安全対策として、横格子間隔8mmを自主基準として設ける。



よじ登りの状況